

令和4年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市浦和駒場体育館
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市浦和区駒場2-5-6</p> <p>②施設の設置目的 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図る。</p> <p>③施設の概要 昭和49年7月1日開館 敷地面積 14,050㎡ 建物面積 7,668㎡ 競技場、第1体育室、第2体育室、柔・剣道場、弓道場、卓球場、トレーニング室、会議室、テニスコート(3面) 他</p>
(3)指定管理者	埼玉シミズ・浦和スポーツクラブ JV
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度:71,112千円、令和3年度:84,311千円、令和4年度:83,787千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況(括弧内は前年度の数值)</p> <p>【利用件数】 58,539件 (51,200件)</p> <p>【利用人数】 263,453人 (206,200人)</p> <p>【利用率】競技場:95.1%(91.6%)、第1体育室:86.9%(82.6%)、第2体育室:96.7%(95.4%)、柔道場:71.0%(64.3%)、剣道場:77.7%(70.7%)、卓球場:64.2%(52.5%)、テニスコート:97.4%(97.7%)会議室:35.1%(28.4%)</p> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者登録及び申込み受付業務(施設の利用許可) ・公共施設予約システムによる貸出し管理 ・事業計画書に基づく業務(市民スポーツの普及・支援・指導など) <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理業務(清掃等) 毎日 ・消防設備保守点検業務 年2回 ・非常発電装置保守点検業務 年2回 ・自家用電気工作物保守管理業務 年6回 ・事業系一般廃棄物収集運搬処理業務 週2回 ・産業廃棄物収集運搬処理業務 年3回 ・機械警備業務 毎日 ・建築設備定期検査業務 年1回 ・建築物定期調査業務 年1回 ・体育器具保守点検業務 年2回 等 <p>③その他の業務</p> <p>スポーツ教室(シニア筋トレ教室、ピラティス、バスケットボール教室、ゆったりストレッチ、バレエとストレッチ、シェイプボクシング、テニス教室等)の開催</p>

(6) 収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入 19,600千円（前年度 17,097千円） ・指定管理料 83,787千円（前年度 84,311千円） ・その他収入 145千円（前年度 117千円） <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 38,701千円（前年度 38,472千円） ・事務費 10,800千円（前年度 11,607千円） ・施設管理費 54,512千円（前年度 51,390千円） <p>【自主事業】</p> <p>①収入 6,264千円（前年度 4,999千円）</p> <p>②支出 5,431千円（前年度 5,054千円）</p>
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>利用者からの希望を受け、常温水のウォーターサーバーを冷水機能付きの物に変更した。</p> <p>投書箱を設け随時対応している。要望については、指定管理者にて対応可能な内容については実施している。</p> <p>利用者アンケートを令和4年12月1日～12月28日に実施した。</p>
(8) その他	<p>ロビーに空調設備が無いため、熱中症予防の観点から、夏季にスポットクーラーを設置した。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
自主事業で新規に2教室実施する。	新規事業として「骨盤体操教室」「シニア卓球教室」を実施した。
毎月実施しているトレーニング講習会の実施回数を増やす。	月4回から6回に実施回数を増やし、年間を通して講習会を85回行った。延べ711名が参加されトレーニング室の利用を促進した。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

<p>【地域の多様な団体と連携し、健康寿命の延伸・障がい者スポーツの支援等に取り組む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成団体である浦和スポーツクラブと共に地域の多様な団体と連携し、『みんなのスポーツ・健康フェア』を開催した。体験会では、車いすバスケットボールやボッチャの体験、栄養相談、健康相談などを実施し、多種多様な市民へスポーツに親しむ機会を提供した。 <p>【『ささえる』スポーツの実現に向けて、新たな事業を実施する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浦和スポーツクラブと協働し、「骨盤体操教室」「シニア卓球教室」を実施した。青年・高齢者向けのプログラムを設けて、個人が気軽に参加できる事業を実施した。また、空き施設を事業の実施に活用することで、稼働率の向上にも寄与した。 <p>【経費の削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用のない時間については競技場等の照明消灯を実施した。 ・備品等の購入にあたっては、その都度複数の見積を取るよう徹底した。 <p>【適正な管理運営の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市公共施設予約システムにより適正に運営管理した。
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価 (B)

1 項目別評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

- ・トレーニング室の初心者講習会の実施回数を増やし、トレーニング室の利用促進を図った。
- ・熱中症予防のためのスポットクーラーや市民から要望のあった冷水機能付きのウォーターサーバーを設置する等市民サービスの向上を図った。

【経費の削減】

- ・円滑で無駄のない予算執行を心がけ、節電努力により電気料金削減に努めた。

【適正な管理運営の確保】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、また、協定書に従って業務を適切に履行し、施設点検等を行った。

2 総合評価

- ・当施設での指定管理者経験(平成22から29年度まで)を生かし、適正な施設管理が行われた。
- ・地域のスポーツ団体と連携し様々な市民がスポーツに親しむ機会を作り出し、スポーツ・レクリエーションの振興に寄与した。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上
- ・利用者アンケートを踏まえた利用者の満足度の向上
- ・危機管理体制の再確認
- ・情報セキュリティ体制の再確認